

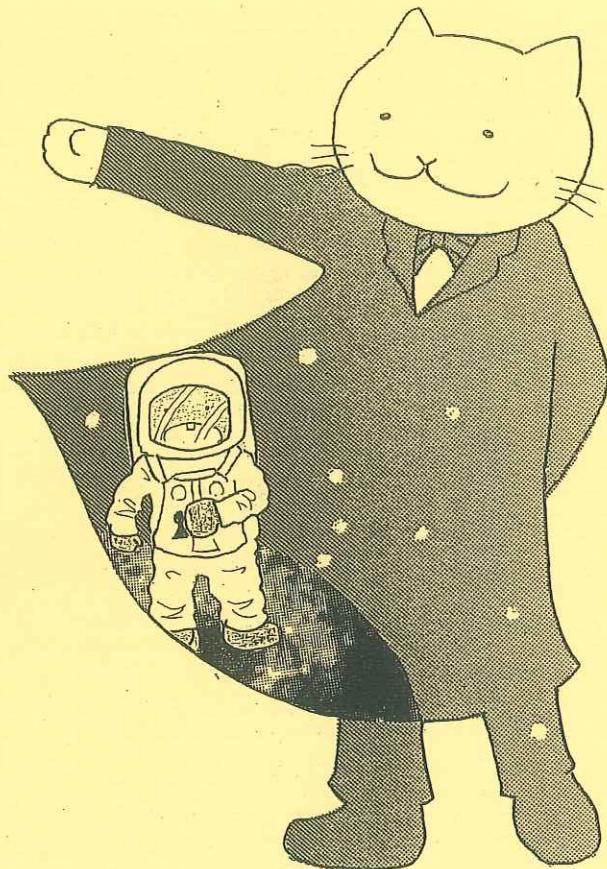
一般向け 今川図書館だより

# いまがわーるど

2016年1月号

今月のテーマ

「賢人に学ぶ」



## 今月の特集「賢人に学ぶ」

歴史上の有名な人物、各分野の成功者などが経験して得た教訓、名言や教え、古今東西の古典など、私たちの生き方のヒントになりそうな本をご紹介。自身の人生における座右の銘をみつけてみてはいかがですか。

### 『座右の古典 賢者の言葉に人生が変わる』

鎌田浩毅 著 2010年 東洋経済新報社 019力

『週刊東洋経済』に掲載されていた『一生モノの古典』を読みやすく加筆、修正したもの。孔子『論語』、プラトン『ソクラテスの弁明』、デカルト『方法序説』など有名な古典50冊がポイントを絞って要約されている。自分にはない視点や考えを知ることで、思考の基礎、物の本質をつかむ力、現代を読み解く力が養われる。時間をかけて読みたい一冊。

### 『老いの思想 古人に学ぶ老境の生き方』

安西篤子 著 2003年 草思社 280ア

誰もが経験する老い。古人们はどうに老いを受け止め、老期を生きたのか。比較的長命に恵まれた古今東西の12名、ゲーテ、世阿弥、李白、宮本武蔵などの古人の晩年の生き方を紹介。余生の送り方を語る『徒然草』の吉田兼好の言葉は、現代に通じるところが多く、老境を生きる現代人の心にも自然と染み込んでくるであろう。

### 『福沢諭吉が生きていたら

〈諭吉なら、今の日本をどう導くか?〉17人の論』

諭吉インサイドプロジェクト出版委員会 編 2008年 扶桑社 281フ

今後、日本はどのような国形を目指せばいいのか。約150年前に日本のあるべき姿を具体的に提案した指導者、福沢諭吉。彼がもし生きていたら、今の日本が抱えている問題をどう解決し、日本を導いてゆこうとするだろうか。諭吉の言葉を引用しながら現代の17人の著名人が答える。

## 『「原因」と「結果」の法則』

ジェームズ・アレン 著 2003年 サンマーク出版 159ア

自己啓発の祖と呼ばれるジェームズ・アレン。現代成功学者のナポレオン・ヒル、デール・カーネギー、オグ・マンディーノなどに最も影響を与えた伝説のバイブル。聖書に次いで一世紀以上もの間多くの人に読まれ続ける驚異的ベストセラーの一冊。

### 『最高知「古典」に学ぶ、成功の戦略』

仕事と人生の武器になる48の発想術』

江上剛 著 2015年 幻冬舎 159工

日本のトップ企業が体験した成功と失敗。危機に遭遇した際に企業はどんな戦略を選択してきたのか。戦術の名著『孫子』と人生の名著『論語』に照らし合わせ、50の戦略と言葉で紐解く。問題解決能力育成に有効なビジネス実用書。

### 『厚黒学 秘密の成功哲学』

守屋洋 著 2013年 学研パブリッシング 159モ

知る人ぞ知る奇書ともいえる『厚黒学』。「厚」とは、恥を恥とも思わない面の厚さ。「黒」とは権謀術数に長けた腹黒さを意味する。激動の時代を生き抜くには、そのふたつが秘訣であると論証した李未吾。今でも中国の人々の関心を集め中国成功哲学を通して、生き方の知恵と異文化理解が深められる。

### 『その一言が歴史を変えた』

「汝自信を知れ」から「悪の枢軸」まで世紀の名言・珍言・暴言50』

ヘルゲ・ヘッセ 著 2010年 阪急コミュニケーションズ 204ヘ

歴史に残る言葉を残した50人を取り上げる。名言だけではなく、歴史を動かした暴言や妄言等は、どのような状況から発せられたのか。各発言の背後にある物語を通して、古代ギリシャから現代につながる2600年の歴史を旅する一冊。

## YA におすすめ！

中高生のみなさんにおすすめの本を紹介します

### 『13歳からの「人を動かす」

#### 人に好かれる女の子になる8つのルール』

ドナ・カーネギー 著 2007年 創元社 159 円

世界的ロングセラー『人を動かす』（社会人として身に付けておきたい、人間関係を良くする秘訣が書かれた本）で知られているデール・カーネギーの娘である著者が、10代の女の子向けに書いた、学校では教えてくれない、大人になっても役に立つ対人スキルが身に付く本。人の心を動かし、誰からも愛される魅力的な女性になる8つのルールを紹介。

### 『子どもの難問 哲学者の先生、教えてください！』

野矢茂樹 著 2013年 中央公論新社 104 円

「私はいつ大人になるの？」「どうして何の役に立つかわからない勉強をしなくちゃいけないの？」「好きになるってどういうこと？」「幸せってなんだろう？」「自分らしいってどういうこと？」「ひとりぼっちが怖い」こんなことを考えたことはありませんか。答えが出そうで出ない、この問い合わせに、哲学の先生たちが答えてくれます。

## 新着本コーナー

最近今川図書館に入った本から、お勧めの本を紹介します。

（新着コーナーにあるものもあります）

### 『蛭子の論語 自由に生きるためのヒント』

蛭子能収 著 2015年 KADOKAWA 123 円

「現代の自由人」こと、蛭子能収が『論語』を読んでみた。『論語』の代表的なエピソードに自身の感想を綴る、日記、エッセイのようでもあり、論語入門のようでもある奇妙な一冊。本を読むことが苦手な著者と一緒に『論語』に触れてみましょう。

### 『エンピツ戦記 誰も知らなかったスタジオジブリ』

館野仁美 著 2015年 中央公論新社 778 円

スタジオジブリのアニメーターとして働き、「となりのトトロ」から「思い出のマーニー」に携わった著者による、27年間の回顧録。スタジオジブリの広報誌『熱風』に連載されていたものを単行本化。

### 『車夫』

いとうみく 作 2015年 小峰書店 913 円 (YAコーナー)

高校三年の秋、事業に失敗した父親が失踪し、その一ヶ月後、今度は母親が出奔した。スカイツリーを仰ぎ見る浅草で車夫（人力車）の引手の世界に飛び込んだ少年と、そこで出会う人々の温かなふれあいを描く。

### 『柳原白蓮の生涯 愛に生きた歌人』

宮崎落葉 監修 2015年 河出書房新社 911.16 円

昨年秋、生誕130年を迎えた記念に出版されたガイドブック。未発表の資料を多数収め、美しい写真と共に構成されている。明治・大正・昭和と激動の時代を、自らの意思で歩んだ希有な女性の生涯。

## 小澤幹雄さんによる 落語と兄 征爾のおはなし

日時：平成28年1月16日（土）  
午後1時30分～午後2時30分  
場所：2階多目的室  
費用：無料  
定員：先着30名（事前申込不要）

小澤幹雄さんをお招きし、落語のおはなし、兄の征爾さんについての  
おはなしをしていただく講演会を開催します。

落語やクラシック音楽に興味のある方は是非ご参加ください。

### 小澤幹雄氏プロフィール

1937年中国大連市生まれ。早稲田大学文学部仏文学科中退。  
東宝演劇部に入り、「王様と私」「放浪記」「風と共に去りぬ」他舞台出  
演多数。  
「小澤幹雄のやわらかクラシック」(FM東京)他音楽パーソナリティ  
ー、司会、講演、執筆等幅広く活躍中。

主な著書に『やわらかな兄 征爾』『小澤幹雄のやわらかクラシック』  
他。2015年末に『ピアノの巨人豊増昇』を刊行。

放送タレントたちの落語会「落狂寄席」メンバー。

高座名：おさわり屋ポン助



## お正月遊びを楽しもう！

子どもからご年配の方まで、  
みなさんで一緒に正月遊びを楽しみませんか。

日時：平成28年1月16日(土)  
午後1時半～3時半（受付は午後1時15分より）

場所：2階多目的室・ゆうゆう今川館

内容：★1時半～ 落語とおはなし（多目的室）

※詳細は左のページをご覧ください

★2時半～ カルタ・福笑いなど（多目的室）

★2時半～ 折り紙（洋室1）

費用：無料

対象：子どもから大人・どなたでも参加できます

※未就学児童は保護者同伴でおねがいします





# 1月今川図書館カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					休館日	
3	4	5	6	7	8	9
休館日				おはなし会		
(10)	(11)	12	13	14	15	16
	おはなし会			おはなし会		講演会・お正月遊び
(17)	18	19	20	21	22	23
	おはなし会			休館日		
(24)	25	26	27	28	29	30
	おはなし会	赤ちゃんおはなし会		おはなし会		
(31)						
開館時間 月～土9時～21時						
(○)の日(日曜・祝日・年末)は9時～17時						
休館日 第1月曜日・第3木曜日						

おはなし会については児童向け図書館だよりをご覧ください

杉並区立今川図書館

杉並区今川4-12-10 TEL 03-3394-0431